

暮らしを豊かに、夢ワイドな

うごしんきんの

個人ローン

カードローン
マイカーローン
教育ローン
住宅ローン
リフォームローン



年金のお受取りは、

うごしんきん

での自動受取りが
便利で確実です。



インターネット・モバイル バンキングサービス

簡単・便利・確実
だから安心やってみよう！



外出先からでも
携帯電話で！



ご自宅からでも
パソコンで！

- ▶ご自宅のパソコンやポケットの中の携帯電話がATMがわりに。
- ▶デビットカードご利用時の残高照会に。
- ▶振込や振替に。
- ▶ネットで定期預金がつくれます。
- ▶入出金明細をご利用の家計簿ソフトや経理ソフトに取込みできます。



地域と共に、あなたと共に。

羽後信用金庫

本部 / 秋田県由利本荘市本荘24番地 TEL0184-23-3000 (代表)
URL: <http://www.ugoshinkin.jp/>

2018 Mini Disclosure

羽後信用金庫の現況



羽後信用金庫



だから

うご

しんきんは

あんしん!

なっとく!



自己資本比率は どれくらい?

平成30年3月末現在の自己資本比率は

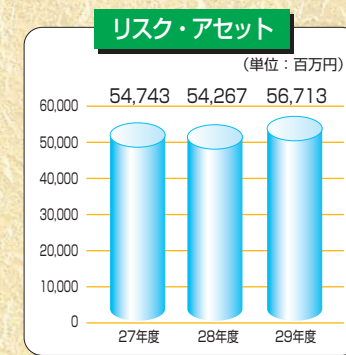
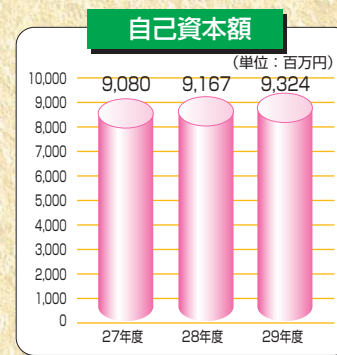
16.44%

です。

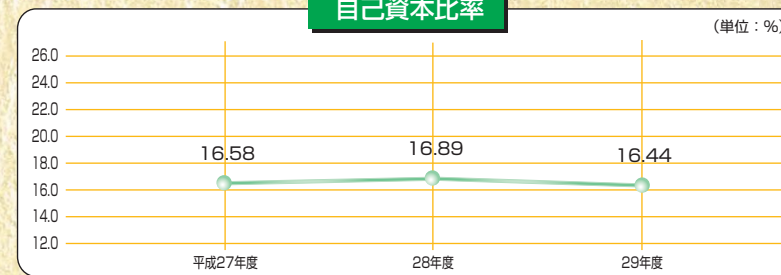
式で表わしますと

$$\frac{\text{自己資本額 } 93\text{億}24\text{百万円}}{\text{リスク・アセット } 567\text{億}13\text{百万円}} \times 100 = 16.44\% \text{ です。}$$

自己資本比率の推移



自己資本比率



自己資本比率の算出方法

自己資本比率は、自己資本額を分子とし、総資産を分母として算出いたします。分母となるリスク・アセットは、資産ごとの回収リスクに応じて算出することになっており、一般の貸出金は分母に全額入りますが、現金や国債などの回収リスクの少ない資産は分母に入れなくてもよいことになっております。



あんしんなわけ

平成30年3月期のうごしんきんの自己資本比率は16.44%で、国際基準の8%を大きく上回り、国内金融機関が健全性の基準とする4%の4倍以上となっており、トップレベルの高い水準を維持しています。

自己資本の重要性

金融機関は、預金や自己資本を資金調達の源泉とし、貸出金や有価証券などの資産を保有・運用しております。預金などは将来必ず支払うべきものですが、運用している資産に貸倒れなどの損失が大量に発生しますと、お預かりしている預金の支払いができなくなる可能性があります。自己資本は、このような損失の発生に対する蓄えとしての役割を果たしてくれるもので、自己資本比率が高いことは、損失の発生の可能性のある資産に対して自己資本という蓄えを多く持っており、安全性が高いこととなります。



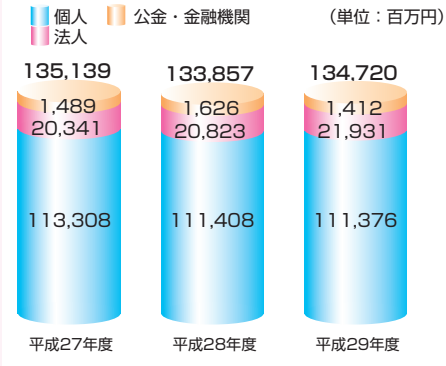


うごしんきんの業績は どうなってるの？

預金・貸出金の推移

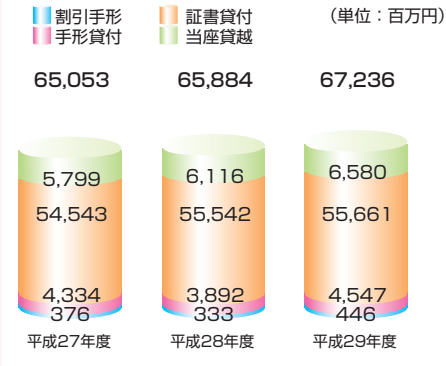
● 預 金

個人預金が32百万円、公金・金融機関預金が2億13百万円減少したものの、法人預金が11億8百万円増加したことにより、昨年比では8億62百万円増加(増加率は0.64%)し預金残高は1,347億20百万円となりました。



● 貸出金

貸出金は一部業種を除き設備投資等の減少による資金需要の低迷が続いたものの、地公体向け貸出の増加等により、昨年度より13億51百万円増加(増加率は2.05%)し貸出金残高は672億36百万円となりました。



収 益

厳しい金融環境の中で、資金運用収益が減少したものの、経費削減を重要事項として取組んだことや、国債等債券償還益、貸倒引当金戻入益の計上があったこと等から、業務純益1億49百万円、当期純利益は3億14百万円となりました。

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常収益	2,871	2,592	2,492
経常利益	691	409	361
業務純益	580	488	149
当期純利益	425	255	314

うごしんきんの不良債権の 状況はどうなってるの？



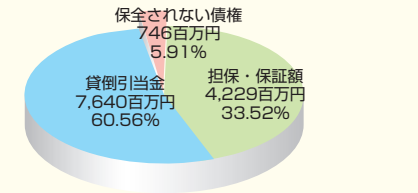
金融再生法に基づく資産査定状況

厳格な自己査定を行い、適正な貸倒引当金を計上しており備えは万全です。不良資産に対する割合(保全率)は、94.08%となっています。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況 (平成30年3月末現在) (単位:百万円)

区 分	開示残高 (A)	保全額 (B)	保全率 (%)		
			担保・保証額	貸倒引当金 (B) / (A)	
金融再生法上の不良債権	12,615	11,869	4,229	7,640	94.08
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,878	7,878	993	6,884	100.00
危険債権	4,304	3,805	3,126	679	88.40
要管理債権	432	186	109	76	43.00
正常債権	55,662				
合 計	68,277				

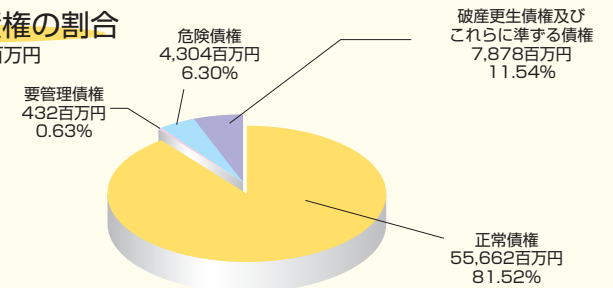
保全状況



- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
 3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
 4. 「正常債権」とは、債権者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。
 5. 「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

総と信に占める各債権の割合

総と信残高68,277百万円





うごしんきん と地域社会との 関わりは？

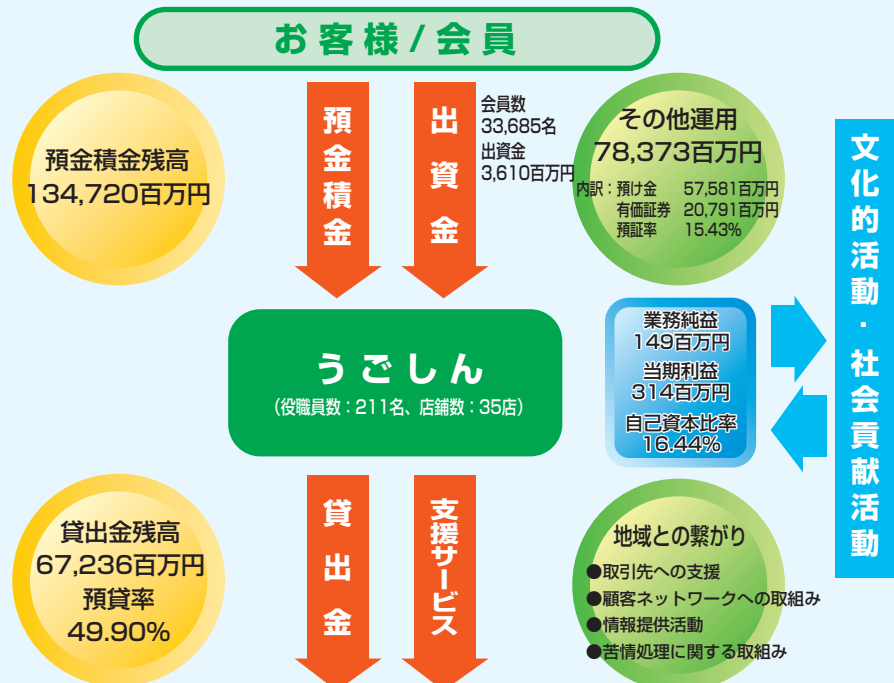
うごしんと地域社会 地域と共に、あなたと共に。

当金庫は、地元で事業を営んでいる方々や住民の皆様が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄をお手伝いするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域社会の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

※計数は平成30年3月末現在



お客様（会員）



“ビックバンク” 信金中央金庫と 信用金庫はどのような関係ですか？

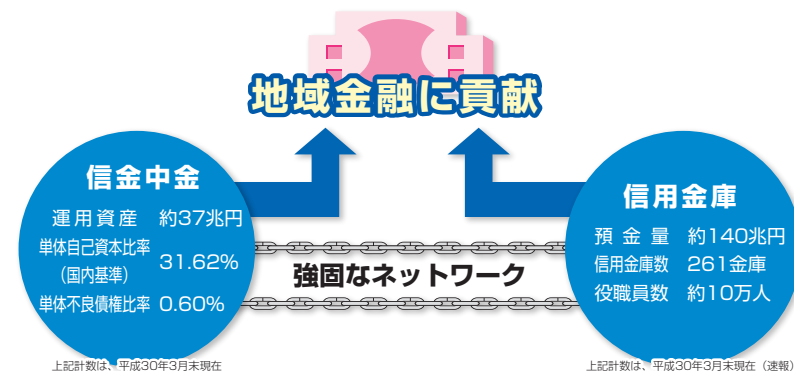


信金中央金庫 ~信用金庫のセントラルバンク~

Shinkin Central Bank

信金中央金庫（信金中金）は、全国の信用金庫を会員とする協同組織形態の金融機関で、信用金庫の中央金融機関として昭和25年に設立されました。

信金中金は、「個別金融機関」と「信用金庫のセントラルバンク」という2つの役割を併せ持つ金融機関であり、平成30年3月末現在の資金量は、信用金庫から預けられた資金と金融債を発行して調達した資金等を合わせて約32兆円にのぼっています。信金中金は、わが国有効の規模を有する金融機関であり、数少ない金融債発行機関でもあります。



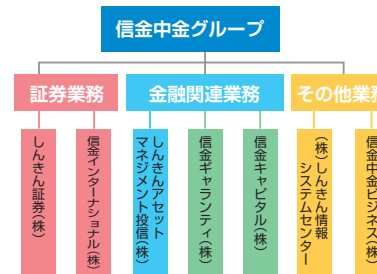
個別金融機関としての役割

- 総合的な金融サービスを提供する金融機関
信金中金グループとして
総合的な金融サービスを提供
- わが国有効の機関投資家
約37兆円にのぼる巨大な運用資産
- 地域社会に貢献する金融機関
地公体向け融資・PFI・代理貸付など

信用金庫のセントラルバンクとしての役割

- 信用金庫の業務機能の補完
中小企業金融等のサポート、
業界ネットワークを活用した信用金庫取引先支援、
市場関連業務や決済業務、人材育成のサポート等
- 信用金庫業界の信用力の維持・向上
経営相談、ALM・リスク管理支援、情報提供等

総合力で地域金融をバックアップ



邦銀トップクラスの格付

格付機関	長期格付
ムーディーズ(Moody's)	A1
スタンダード&プアーズ(S&P)	A
格付投資情報センター(R&I)	A+
日本格付研究所(JCR)	AA

平成30年4月末現在